

JR東海労
大二運分会

交差点

No. 140
2007年 10月2日
責任者：高原 弘 幸
発行：教宣部

職場のレイアウトに 社員から不満爆発！！

全乗務員の皆さん！！

サービス労働と分かっているにも、会社に文句も言えず仕方なく出勤前や退出後、あるいは休みの日まで出てきて、引っ越しの準備をされ大変お疲れ様でした。

さて、皆さん！新庁舎の居心地はいかがでしょう？！早速、自所・他所の乗務員から乗務員待機室のあまりの狭さと出入り口に近いかも、ソファの位置を替えて欲しいといった不満があがっています。

社員の睡眠まで 社員管理をする 異常な会社！！

会社掲示に「大阪第二運輸所仮眠スペース設置及び使用方法について」と題した掲示が出ましたが、睡眠プログラムに登録してる社員だけにしか使用を認めないことや使用時間も20分間だけである。このことについて乗務員から「ただでさえ狭い室内に誰も利用しない仮眠スペースを取りすぎている」・「しょうもないのを作って誰が使うんや」・「あれだけのスペースがあれば、リクライニングソファを増やして他所の乗務員がくつろげるところを作ったらどうや。」といった色々な不満があがっています。

皆さん！「睡眠プログラム」に登録している乗務員が全所で一体何名いるのか疑問ですし、特に車掌の3時間前後の待機時間中は、誰もかが仮眠を取っているのが現実であります。しかも、20分足らずの睡眠ではなく、大多数の乗務員はそれ以上の仮眠を取っているのです。

会社は、乗務員職場の実体や乗務員の声を無視して、社員管理の為にだけレイアウトを考えたとしかいいようがありません。

私たち大二運分会は、誰も利用しない仮眠スペースの廃止とリクライニングソファの増設及び予備待機室の変更を求めています。全乗務員の皆さんと一緒に会社に不満をぶつけていきましょう！！